



2022年5月17日

各位

会社名 ルネサス エレクトロニクス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 柴田 英利
(コード番号 6723 東証プライム)
問合せ先 CEO室
室長 永山 雅之
(電話番号 03-6773-3001)

甲府工場に投資し、パワー半導体生産の 300 mmラインとして稼働再開 ～EV 向け需要の拡大を見据え、パワー半導体の生産能力を増強

ルネサス エレクトロニクス株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長兼 CEO:柴田 英利、以下、ルネサス)は、2014年10月に閉鎖した甲府工場(山梨県甲斐市)に900億円規模の設備投資を行い、300mmウェハ対応のパワー半導体生産ラインとして、2024年に稼働再開させることを目指します。

脱炭素社会の実現に向けて、電力の供給や制御を担う高効率なパワー半導体の需要が、今後世界的にますます高まる見込みです。特に、電気自動車(EV)向けの需要が急拡大することを見据え、ルネサスは、IGBTなどのパワー半導体の生産能力を増強することで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。甲府工場で本格的な量産が開始されることにより、ルネサスのパワー半導体の生産能力は現在の2倍になります。

甲府工場は、ルネサスの100%子会社であるルネサス セミコンダクタ マニュファクチュアリング株式会社(本社:茨城県ひたちなか市、代表取締役社長:小澤 英彦)の傘下として、150mmおよび200mmウェハ対応の生産ラインを有していました。今般、ルネサスは、生産能力増強を目指して、甲府工場に現存する建屋を有効活用し、パワー半導体専用の300mmラインとして稼働を再開させる判断に至りました。

ルネサスの代表取締役社長兼 CEO の柴田 英利は次のように述べています。

「ルネサスは、“To Make Our Lives Easier”をパーパスとして掲げ、人々の暮らしを楽(ラク)にする半導体製品・ソリューションを通じて、持続可能な将来を築くことを目指しています。

ルネサスは、今回の投資により、自社最大のパワー半導体生産ラインを構築し、脱炭素社会の実現に貢献します。今後も、アウトソースパートナーとの連携を一層強化するとともに、必要に応じて自社生産能力の充実のために適正規模の設備投資を実施します。中長期的な拡大が見込まれる半導体需要拡大に対して、必要十分な供給能力を確保していく所存です。」

なお、本設備投資は、経済産業省の半導体戦略を踏まえ、同省とも緊密に連携し、2022年中に実施する予定です。2022年のルネサスの業績に与える影響は軽微ですが、今後、ルネサスの業績に対し重要な影響を与える見込みが生じた場合には、速やかにお知らせします。

■ 甲府工場の概要

- ・ 名称:ルネサス セミコンダクタ マニュファクチャリング株式会社 甲府工場
- ・ 住所:山梨県甲斐市西八幡 4617
- ・ クリーンルーム面積:18,000 m²
- ・ 生産予定品目:IGBT、パワーMOSFET



甲府工場外観

< 本件に関する問合せ先 >

ルネサス エレクトロニクス株式会社 CEO 室

[報道関係]03-6773-3001(直通) [IR関係]03-6773-3002(直通)